提出日：2025 年 9 月 10 日
報告者：木瀬

SDGs 委員会 8 月活動報告書

■活動名
ペットボトルキャップの寄付

■活動の経緯と目的
SDGs 目標 3（すべての人に健康と福祉を）への取り組みとして、公益社団法人平塚法人会を通じペットボトルキャップを寄付致しました。廃棄されてしまうことが多いペットボトルキャップも、分別し協力団体に寄付する事でワクチンとして生まれ変わり、世界の子供たちに届ける事ができます。（別添：公益社団法人平塚法人会チラシ参照）
当社は 2023 年よりペットボトルキャップを寄付しており、今年で 3 回目の取組みとなります。この活動は、熱中症対策として従業員の水分補給を推奨する中で、ペットボトル飲料の消費が増加したことをきっかけに始まりました。ボトル本体のリサイクルに加え、キャップ部分も分別・回収することで、より広い視点で SDGs に貢献できるのではないかと考えたのが発端です。
今年度は、従業員が業務中に使用したペットボトルに加え、家庭から持ち寄ったキャップも回収対象とし、回収量の増加を図りました。職場と家庭の両方から協力を得ることで、活動の輪が広がり、より多くのキャップを寄付することができました。

■参加者
従業員　全員

■活動内容
① ペットボトルを正しく分別する。
→平塚市の分別方法に則り「ペットボトル（ペット）」と、「キャップとラベル（プラクル）」を正しく分別し、限りある資源の有効活用に努めました。
② ペットボトルキャップ寄付。
→①のプラクルをさらに細かく分別し、ペットボトルキャップを収集、公益社団法人平塚法人会（提供先：ベストトレーディング株式会社　寄付先：JCV 世界の子どもにワクチンを委員会）に寄付いたしました。
社内で出るペットボトルキャップの他、従業員のご家庭にもご協力いただきました。
※ペットボトルキャップ収集期間　2024 年 9 月～2025 年 8 月

■活動の成果
総量：12kg　　個数：約 6,000 個（ワクチン約 10 人分）　　日付：2025 年 9 月 8 日(月)

■感想と今後について
従業員の皆さんとそのご家族にご協力いただき、今年も多くのペットボトルキャップを寄付することができました。ありがとうございました。来年再び寄付できるように、社外への協力依頼の検討も含め、社内外で活動を続けていきます。今後も 2030 年の SDGs 目標達成に向けて従業員全員で活動を続けていきたいと思います。